

## 令和3年度第4回狛江市市民活動支援センター運営委員会 議事録

- 1 日時 令和4年4月11日(月) 13:30～15:15
- 2 場所 狛江市役所4階特別会議室
- 3 出席者  
委員：伊東達夫 伊藤輝芳 上田英司 小川三男 佐藤新哉  
松村正俊 三角佐智子 長尾眞木 三島瑞子 青木香奈  
伊藤聡子 梶川朋  
事務局：小楠寿和 大山寛人 日比野浩
- 4 委任状 委員：古川裕朗 清水信之
- 5 傍聴者 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため傍聴は中止
- 6 議題
  - (1) 報告事項
    - ①指定管理業務の報告について
    - ②令和3年度 検討チーム事業(3事業)の報告について
      - ・市民活動を始めのきっかけ講座検討チーム
      - ・社会資源の活用の推進検討チーム
      - ・調査・研究検討チーム ※アンケート調査報告を含む
    - ③専門部会からの報告について
      - ・体験学習部会
      - ・広報部会
      - ・ホームページ部会
  - (2) 協議事項
    - ①令和3年度事業報告書(案)について
- 7 配布資料
  - (事前配布)
    - [資料1] 狛江市市民活動支援センター令和3年度事業報告書(案)
  - (当日配布)
    - 市民活動支援センター指定管理業務報告(令和3年7月～令和4年2月)
    - 各検討チームの活動概要
    - 各専門部会の活動概要
    - 広報紙こまえくぼ1234 令和4年4月号
- 8 会議概要
  - (1) 開会
    - ① 委員長あいさつ

委員長より挨拶がされた。

(2) 議題

① 報告事項

ア 指定管理業務の報告について

イ 令和3年度 検討チーム事業（3事業）の報告について

ウ 専門部会からの報告について

資料に基づき、事務局より報告がされた。

(委員長)

各報告事項について、質問等があればお願いします。

(委員)

消防署との動画制作で音源作成を中学生に声をかけたのはなぜか。

(事務局)

別の事業で訪問していた中学校の先生との会話から生徒を紹介してもらったという経緯。つながりの中から広がった事例でもある。

(委員)

検討チームで関わった「狛江☆サミット」がコロナの影響で中止になったが、準備していた内容での開催は今後予定されているか。

(事務局)

予定していた内容での開催は予定されていない。

今回、企画していただいた形式を生かしていくように市と連携していきたい。

(委員)

調査結果に関してクロス集計なども記載されているが、クロス集計をすることでどうということがわかるのか。

(委員)

今回の結果は、調査結果の数値報告。この結果から何を重点として取り組むかを考えるのは次の検討チームになる。若い人の参加が少ないというが若い人の人口は減っている。この結果をどう読み解いて狛江としてどういう方向に行くか考えていくことが必要になると思う。

(委員)

この調査結果は市内で活動している団体にも今後の活動を考える上でとても重要なデータになると思う。結果を公表するのか。

(事務局)

調査結果については、貴重なデータであるのでホームページや窓口閲覧が出来るようにする方向で検討している。

(委員)

今回の調査対象から広げた調査を行う予定はあるのか。

(事務局)

今回の調査は、センターが連絡先を把握している登録団体、地域団体を対象として通知をした。今後、新たに対象を広げる予定はなく、この結果を分析して取り組みに繋げていく予定です。

(委員)

令和3年度から広報紙が「わっこ」に統合されたり、新しい広報紙が発行したりした。今後に向けてホームページやラジオなどの広報全体の成果や課題をどのように捕えているか。

(事務局)

団体が何を伝えたいか、発信したいかが重要と考えている。広報媒体は、ツールのひとつとして理解してもらい、発信する情報の内容に団体には注目してもらいたいと考えている。

(委員)

広報として「わっこ」に掲載されることで表現などプロの仕事を感じる機会になっているように思う。市民目線での記事がカットされることなどもある。

(委員)

「わっこ」を含め、狛江市内の取材先は限られているので重なるところも出てくるので、上手く共存していただきたい。

## ②協議事項

ア 令和3年度事業報告書(案)について

資料に基づき事務局より説明を行った。

(委員)

児童の日本語支援の取り組みについては、狛江市内にも日本語の勉強を必要としている人がいることを知ってもらう機会になると思う。

表記の中にある「外国籍の児童・生徒」「外国人児童・生徒」など複雑なケースもあるので今後、表記については検討してもらいたい。

(事務局)

表記の仕方については検討していく。

(委員)

外国人児童に関係する支援に関わっていて市民活動から支援が広がっていったことはすごく大切なことだと感じている。公的な支援の整備や協力につながるような橋渡しが必要になると感じている。

(事務局)

ボランティアや市民活動で対応できる部分と公的な支援を必要とする部分が

ある。狛江市とも役割について協議していきたい。

(委員)

団体登録の更新時期で提出書類として事業計画や予算書などを求めている。こうした部分から団体活動を見直してもらいたいのか。団体から意見は出ているか。

(事務局)

提出書類は多くなったという意見もいただいているが、団体運営に必要な書類であることを理解していただくように説明している。助成金の申請や公共施設の利用登録で必要になっている書類を今後の団体活動をするうえでも揃えてもらいたいと考えている。団体活動の基盤づくりとして提出書類の作成からサポートしていきたいと考えている。

(委員)

多くの団体が活動しているがメンバーが感染したなどの情報はるか。

(事務局)

団体からメンバーが感染したと直接情報をいただくことはありません。

### ③その他

新年度の職員体制について事務局より説明をおこなった。

任期の最終運営委員会にあたり出席している全委員から挨拶をいただいた。